

# ベント・キット (R4300XFVK12 または R4300XPVK12) 設置説明書

## Fisher™ 4320 Wireless Position Monitor with On/Off Control Option (ワイヤレス・ポジション・モニター) (オン・オフ制御オプションあり) 取扱説明書に対する補足文書

この補足文書は、IP66ベント・キット、部品番号R4300XFVK12あるいはR4300XPVK12、オン・オフ制御オプションあり、4320のハウジング使用の場合の設置についての情報を含んでいます。

### 注意

4320ワイヤレス・ポジション・モニターに関するその他すべての情報は、[Emerson Automation Solutions 営業所](#)、あるいは [www.Fisher.com](http://www.Fisher.com)から4320の取扱説明書 ([D103621X012](#)) をご入手の上ご参照ください。



この補足文書は、TopWorx™ 4310ワイヤレス・ポジション・モニター (オン・オフ制御オプションあり) (サポート状態) にも関連します。4310ワイヤレス・ポジション・モニターに関する情報は、[www.Fisher.com](http://www.Fisher.com)から取扱説明書 ([D103622X012](#)) をご入手の上ご参照ください。

### 含まれる工具

注意：工具はR4300XFVK12にのみ含まれます。

- 5/8 インチドリル刃先
- 23/32 インチドリル刃先
- 1/2 インチ-14 NPT パイプタップ

### 含まれる部品

注意：部品はR4300XFVK12とR4300XPVK12の両方に含まれます。

- 1/2 NPT ベント



- 1/2 NPT 90° パイプ・エルボ



- 1/2 NPT 逆止め弁



- パイプ密閉材

**▲ 警告**

取付け作業を行う際は、怪我や設備の破損を回避するために、保護用の衣服、手袋、眼鏡を着用してください。

バルブ内に圧力が残っている間は、バルブからアクチュエータを取りはずさないでください。

アクチュエータに空気圧、電力、または制御信号を供給する経路となっている作動ラインの接続をすべてはずします。アクチュエータによってバルブの急な開閉が引き起こされないことを確認してください。

バイパスバルブを使用するか、プロセスを完全に停止させて、バルブをプロセス圧力から遮断します。プロセス圧力をバルブの両側から解放します。

ロックアウト手順を実行して、機器での作業中に上記の処置が継続的に有効であることを確認してください。

プロセスで使用されている流体からの保護のために必要なすべての追加措置をプロセス技術者または安全担当技術者に確認してください。

**▲ 警告**

天然ガスを供給媒体として使用する場合は、下記にも注意してください。

空気圧接続や圧力保持部品を外す際、ユニットおよび接続された装置から周囲に天然ガスが漏れます。天然ガスを供給媒体として使用する場合は適切な予防対策をしないと、怪我や財産の破損につながるおそれがあります。予防対策には下記の1つ以上が含まれ、ただし以下のみには制限されません: 適切な換気確保および任意の発火源を除去したことの確認。

ベントを設置するためには、装置のハウジングの中に1/2 NPT穴が必要となります。新しい装置は、この穴が利用可能な状態で供給されます。1/2 NPT穴がまだない場合は、下記のドリル穴開けの手順に従ってください。既に装置にドリル穴が開けられている場合は、ベント設置の手順に進んでください。

## ベント部用のコンジット取り付け部分にドリルで穿孔する際の手順説明

1. 装置のカバーを完全に開けてください;この操作により、次の手順に備えてパワーモジュールを脇に移動させます。

**▲ 警告**

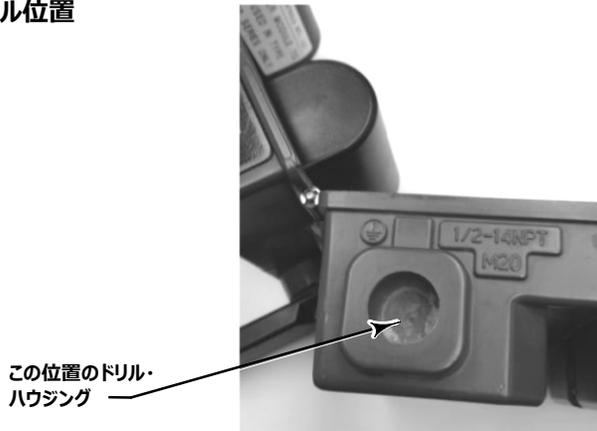
パワーモジュールが、ドリル穿孔作業の前に脇にのけられていることを確認してください。もし必要な場合は、パワーモジュールを取り外してください。パワーモジュールに万が一ドリルで穴を開けてしまう事故が発生した場合、器物損壊、人身事故あるいは生命に直結する危険があります。

2. 5/8 インチのドリル刃先を使用して、下部ハウジング・ボスの中心にあわせて最初の穴を開けます。23/32 インチのドリル刃先を使用し、装置の下部ハウジング・ボスを貫通させてから、1/2 インチ-14 NPT(M20 は使用しないこと)ねじにあわせて必要な穿孔を行ってください。ハウジング内部から、アルミニウム微粒子をすべて除去してください。ご不明な点がある場合は、図1 も参照文献としてあわせてご利用ください。

**▲ 警告**

穿孔作業の間は、常に工具をしっかりと地面に固定し、適切な制御を維持してください。これらを遵守しない場合人身事故の原因となるおそれがあります。

図1。ドリル位置



ベント部でIP66等級の適合を維持するためには、ベントを下に向けて設置する必要があります。90°エルボは、垂直でない方向でユニットを設置する場合に使用されます。「垂直でない方向にユニットを設置する場合」とは、ネームプレートが設置時に下に向いていない方向すべてを指します。設置条件に従って、下記の通り適切なベント設置手順を守って作業を続けてください。

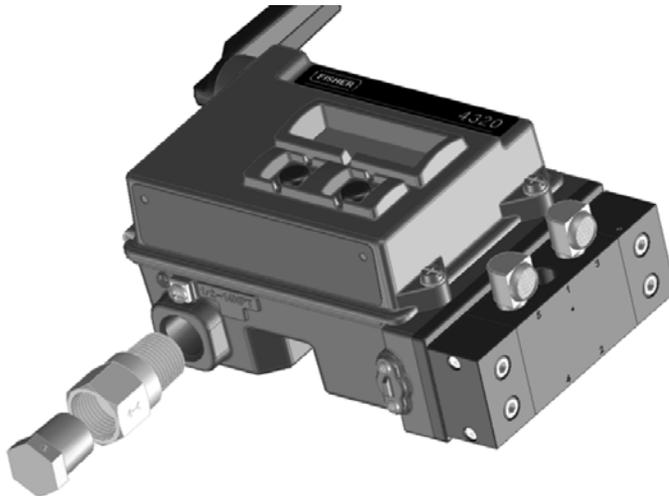
## ベント設置

### ユニットを垂直に設置する場合(ネームプレートが下に向けた状態)のみのベント設置手順

この部分の分解組立図は図2の中で示されます。

1. パイプ密閉材を 1/2 NPT 逆止め弁上の雄ネジに塗布してください。
2. 逆止め弁を、ワイヤレス・ポジション・モニターに新しく穴開けされた1/2 NPT 接続部にはめこんでください。しっかりと接続されていることを確認してください。
3. パイプ密閉材を 1/2 NPTベント上の雄ネジに塗布してください。
4. 逆止め弁に 1/2NPTベントをはめこんでください。しっかりと接続されていることを確認してください。
5. ベント部分の接続が、すべて固く締まっていることを確認してください。

図2。ユニットを垂直に設置する場合のベント設置手順

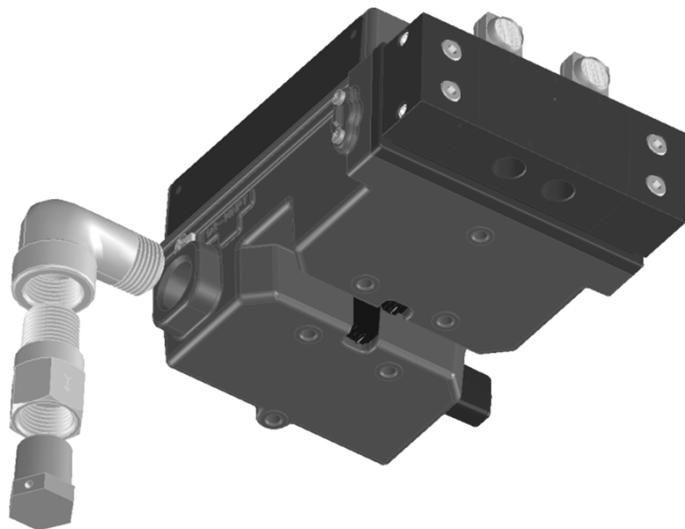


## ユニットを垂直でない方向に（ネームプレートが下に向いていない状態で）設置する場合のベント設置手順

この部分の分解組立図は図3の中で示されます。

1. 1/2 NPT 90° パイプ・エルボ上の雄ネジにパイプ密閉材を塗布してください。
2. 1/2 NPT 90° パイプ・エルボを、ワイヤレス・ポジション・モニターに新しく穴開けされた1/2 NPT接続にはめこんでください。90°パイプは、IP66等級に適合させるためには、下に向ける必要があります。しっかりと接続されていることを確認してください。
3. パイプ密閉材を1/2 NPT逆止め弁上の雄ネジに塗布してください。
4. 逆止め弁を1/2 NPT 90° パイプ・エルボにはめこんでください。しっかりと接続されていることを確認してください。
5. パイプ密閉材を1/2 NPTベント上の雄ネジに塗布してください。
6. 逆止め弁に、1/2 NPTベントをはめこんでください。しっかりと接続されていることを確認してください。
7. ベント部分の接続がすべて固く締められていることを確認してください。

図3. ユニートを垂直でない方向に設置する場合のベント設置手順



Emerson、Emerson Automation Solutions、ならびに両社の系列会社のいずれも、いかなる製品についての選択、使用、メンテナンスに対する責任は負いません。いかなる製品の適正な選択、使用およびメンテナンスに関する責任は、唯一、購入者とエンドユーザーにあるものとします。

FisherおよびTopWorxは、Emerson Electric Co.のEmerson Automation Solutions事業部門の企業が所有する商標です。Emerson Automation Solutions、Emerson、およびEmersonのロゴは、Emerson Electric Co.の商標およびサービスマークです。その他のすべての商標は、各所有者が所有権を有します。

本書の内容は情報提供のみを目的としています。情報の正確性を確保するために努力をしておりますが、製品やサービスに関しここに記載されている仕様または適用性においてこの情報を明示的または黙示的な保証として解釈することはできません。すべての販売は利用規約に則って管理されています。エマソンは随時予告なく製品のデザインや仕様を変更または改善する権利を留保します。

### Emerson Automation Solutions

Marshalltown, Iowa 50158 USA  
Sorocaba, 18087 Brazil  
Cernay, 68700 France  
Dubai, United Arab Emirates  
Singapore 128461 Singapore  
日本Fisher株式会社  
東京都品川区東品川1-2-5

